



「異才たちのアート展」

柳原 昭三



12月3日～9日まで「障害者週間」です。

小平では、「障害者週間のつどい実行委員会」という団体があります。そこが、「障害者週間」に合わせて「異才たちのアート」展を開催しています。

「異才たちのアート」展というのは、市内に住んでいる障害者が描いた絵とか字などの作品を出品してもらって、商店街、公民館、喫茶店などに飾って市民に見てもらうイベントを開催しています。

去年は、11月23日～12月17日まで開催しました。

僕の絵は、ブリヂストンイノベーションギャラリーというところに飾ってありました。入口から入ると正面に僕の絵が、大きく拡大してあって天井からつるしてありました。それを見た時に、僕の絵が迫力があって、素敵な絵になっていたの、驚きと嬉しさに胸がいっぱいになりました。

とうたす班の中で、僕を含めて4人の絵を異才たちのアート展に出品をして、3人の絵がブリヂストンイノベーションギャラリーに飾ってありました。

「これからの人生」

亀井 賢太郎



これからの人生を考えた時、終活を考えなければと思い始めました。現在僕は70歳です。これからのことを考えた時に、今の生活がもう限界かなと思っています。

最近疲れやすくなって来たと感じています。何が疲れやすくなって来たかと言うと、色々な事をヘルパーさん達に言わないといけないからです。

姉だってこれからどうなるか分かりません。もし姉が倒れたり病気になるしたら、僕の面倒を見てくれなくなってしまいます。

いろいろ考えたときこの辺で今の生活（一人暮らし）を辞めて、特養か老人系のグループホームに入りたいと考えています。もし入れたら老後をゆっくりのんびりと過ごしたいなと思っています。

でも姉が猛反対していますから、まず姉から説得しないと駄目だから大変です。何年かかるか分かりませんが、希望としたら老人系のホームに入りたいと思っています。

短歌

竹内 桃子

一 人生は他人の手を借りても
己で開くというポリシー
一 命とは何と心に問うならば
元氣印の仲間の訃報聞く



とうたす通信

発行 あさやけ風の作業所内 とうたす班

〒187-0033 小平市中島町3-8

TEL 042(349)2366 toutasu@asayake.or.jp

http://www.asayake.or.jp/kaze.html

No 332
2022年1月20日

皆様はどんな新年を迎えましたでしょうか？
新型コロナウイルスがどうなるかわかりませんが、
今年も元気にお過ごしください。

いつもとうたす通信をご愛読頂きまして誠にありがたく思っております。
本年も、引き続きとうたす通信をご愛読頂きますようよろしくお願ひ致します。

二〇二二年（令和四年）一月

とうたす班 一同

